

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.45 February 2015

第4回研究会を開催 11月29日(土)

第4回研究会は、「中小企業経営・マネジメントにおける新たな視点」をテーマに講演会を開催いたしました。当日は41名の会員・機構研究員が参加しました。

今回も本会企画担当の株式会社アスク 武内博資氏が司会を務め、大変活気ある研究会となりました。

また、本振興会会員同士の交流の深化を目的に、昨年と同様、会員企業のPRの機会を設けました。新規会員企業を中心とした3社の企業PRは、本振興会会員にとりましても、会員企業を知る絶好の機会となりました。

1 講演「公共施設マネジメントのススメ ～公共施設の今後はいかに?～」

平井建設株式会社 代表取締役専務
株式会社KMK 代表取締役社長 平井 健嗣 氏

平井健嗣氏が早稲田大学・大学院在学中から研究されている、公共施設マネジメント手法、及び、自治体の現状調査結果などをご講演頂きました。冒頭に、施設建設よりもその後の維持管理にかかるコストの方が圧倒的に多大となること、我が国の公共施設の半数以上が築20年以上であり、維持管理の課題が山積していること等についてのお話がありました。この解決のためには、保全情報システム (Building Information Systems for Maintenance and Management Support : BIMMS) などを利用してデータを蓄積し、施設間のコスト比較など定量的な手法を用いることで課題抽出と対策案が生み出せる事を、二つの市での事例も交えながら紹介されました。



また、民間企業においてもこのような手法を用い、固定資産や備品についてのデータを蓄積・管理する事で戦略的に資金を活用できると、会社マネジメントからも非常に有益なお話を頂きました。

2 講演「中小企業のための知財支援制度とその支援機関」

関西大学 産学官連携コーディネーター 石原 治 氏

石原治氏より「中小企業のための知財支援制度とその支援機関」についてお話を頂きました。ご講演では、①基礎知識編として、知的財産権の種類をはじめ特許制度の概要と、事例として「サトウ切り餅事件」の概要およびその後についての解説がありました。また、②減免制度編では、中小企業やベンチャー企業が、特許権等を取得する料金が安くなる制度や、外国で特許を取得する費用の交付金の制度に関する説明がありました。さらに③知財総合支援窓口編では、知財に関する各種相談を無料で専門家に相談できる窓口の紹介がありました。中小企業にとって知って得する知財支援策について具体例を交えて詳しくご説明頂き、参加者からは特許の重要性を改めて認識する有意義なご講演であったとの感想が述べられていました。



3 会員企業のPR

(1) アークレイ株式会社

本年(平成26年)入会のアークレイ株式会社 からだサポート研究所所長の川上宏智氏より「アンチエイジング機能性食品素材の開発」についてお話頂きました。講演では、1) 臨床検査機器などの事業を行っているアークレイ社の中で、同研究所は健康食品原料の開発・販売などを担当していること、2) AGEs (Advanced Glycation End Products : 終末糖化産物) が老化を促進すると言う事で、抗糖化素材「AGハーブMIX™」の紹介や、抗炎症素材「ビレチン™」の紹介がありました。また、同研究所は足利義満の管領 細川満元が金閣寺造営の余材を用いて築いた邸宅を始まりとする擁翠園内に位置するとのことで、興味深いビジネスだけでなく見事な庭の写真に参加者の興味を惹きつけていました。



(2) 株式会社ハイデクスタ

株式会社ハイデクスタは昭和 40 年 6 月、大阪市西区靱本町で内装設計施工店としてスタートし、現在は建築・内装以外に冷凍・冷蔵・空調設備、電気・給排水設備工事、メンテナンス工事、不動産コンサルティング、通信事業、介護事業など幅広い事業を展開されている企業です。会社の礎を築かれた山之上英市氏は、社長時代から顧客の視点に立って、内装設備を利便性の高いものに改善されてきており、会長として実務を退かれた後も生活に密着した優れた発明を創出されています。同氏の説明から、事業開拓精神がしっかりと同社に根付いていることが伺えました。尚、同社は本年（平成 26 年）、本振興会に加入されました。



(3) 株式会社富士電熱開発社

株式会社富士電熱開発社は昨年（平成 25 年）、本振興会に加入された企業で、昭和 56 年大阪市鶴見区に設立されています。創業以来一貫して、「熱の供給者」として産業用の様々なヒーターを開発・販売されており、一般的な各種カートリッジヒーターから特殊なアルミ鑄込みヒーターなどが測定装置分野、医療分野、車載分野など幅広い産業に応用されています。また、代表取締役 山口宣弘氏から、熱源のアドバイスやヒーター 1 本からの設計開発・供給も可能との説明があり、企業のみならず大学などの研究機関においても有用な企業と参加者から注目を浴びていました。尚、同社は「関西の優良モノづくり企業 111 社」（日刊工業新聞社編）にも選出されています。



アンケート集計結果

今回は 16 件の回答を得ました。その中で、研究会の内容については、「参考になった」「やや参考になった」が 89%、「理解しやすかった」「やや理解しやすかった」が 88%、「長さも適当」が 61%でした。

また、「関心のある技術分野」については、「医療・福祉」「機械・メカトロニクス」「ものづくり・加工」との回答が多く、「知りたい情報」については、「実用化が期待される研究成果」との回答が多くありました。

これらの結果を、今後の研究会活動に反映するよう努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

第 5 回研究会を開催～第 19 回先端科学技術シンポジウムに参加～

科学技術振興会では、1 月 22 日（木）、23 日（金）に開催された第 19 回先端科学技術シンポジウムにおいて振興会セッションとして、第 5 回研究会を開催しました。会員をはじめ同シンポジウム参加の多くの方々に本振興会のパネル展示をご覧いただきました。

先端機構における一年間の研究成果の集大成としての同シンポジウムは、今回は先端科学技術推進機構創設 50 周年記念として開催され、本振興会が後援したことに対して大学側から挨拶の中で謝辞を頂戴いたしました。なお、同シンポジウムには、2 日間で企業や研究機関等から延べ 1,060 人の方がご来場されたとのことでした。



振興会のホームページ

<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>

関西大学 HP からサイト内検索で「振興会」を入力してください

ASCIKU 関西大学科学技術振興会

Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University

関西大学科学技術振興会は平成 27 年に 50 周年を迎えます